

住民投票の重みについて

小池 一夫 議員



備計画は。計画が一向に進まないのは納得できない。

答：教育長

スポーツ審議会です、町民広場全体の基本計画を策定した。財政的見通しが立った上で実現可能な計画を練り直したい。

問

有害鳥獣の被害状況と次年度対策は。

答：矢嶋町長

猿、シカ、猪の農産物被害は135件、10ha。1千万円。効果的な対策はまだないが、次年度も同様の対策を講ずる。

問

河川改修の進捗よく状況は。

答：町長

洪水災害の未然防止のため、緊急性・危険度の高い箇所を中心に整備改修する。

問

合併の住民投票の結果をどう考えるか。説明不



河川改修を継続する瀬沢川（丸山団地西側）

足で真意が伝わらなかつたとしたら失敗だ。責任のけじめを。

答：町長

法定合併協議会に進む議案は提出しない。任意合併協からも脱退する。説明については物理的・効果的に十分だったかどうか反省している。責任は十分感じているが、手を離すことが責任をとることではない。

進行しない 都市計画の再考を

大橋 利彦 議員



問：大橋利彦議員

男女共同参画推進について、取組み状況は。町条例制定の考えはないか。町内の集落・区を取り決めるなどに男女差別が温存されているような事例はないか。

答：小松教育長

協議会を定期的に開催し、推進事業計画の策定・啓発資料の配布また推進委員の研修会参加等を行っている。条例化は具体的に施策として盛り込まれていて16年度より進める。区については把握していないが、性別で規定している所はなく、自由に役員を選出している。

問

都市計画道路11路線に

ついて、今後の整備の見通しは。計画該当地の地権者の権利制限の検討が必要ではないか。

答：矢嶋町長

北通り線については用地買収を図っているが、その先の乙事線への延長はやらないと、私の考えで切った。他は都市計画

マスタープランに基づき各地区のご協力を得て進めて行く。建物・開発に対する制限があり、土地の硬直化・不都合がある



都市計画道路「北通り線」予定地のカーブした現道

ることは承知している。他の事業で国の補助金を貰っていることもあり、見直しの手続き・可能性も含め調べている。

問

市町村合併について、住民投票の結果に対して町長は何を住民に訴えたか。今後の計画の概要は。

答：町長

結果は厳粛に受け止めている。それによって起こることは工夫と力が必要。合併についての今後の計画はない。